

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成19年度取組実績」

17 社団法人日本私立大学連盟

19年度の具体的取組		実績
均等な雇用機会		
	授業科目への取り組みを今後ともさらに行き渡るように努力する。 組織的な研究機関・組織を構築することも検討されている。	授業科目に現代女性とキャリア連携専攻のコア科目、計12単位を増設(日本女子大学)。 2008年4月、現代女性キャリア研究所を開所(同上)。
セクシュアル・ハラスメントの防止		
	大学においてはセクシュアルハラスメントの問題にもまさって、パワハラやアカハラの問題が深刻であり、人権問題として広範に取り組んでいきたい。	セクシュアル・ハラスメント防止委員会の内容にパワーハラスメントを加え、名称も「セクシュアル・ハラスメント等防止委員会」に変更(日本女子大学)。
教育・学習の充実		
	就職指導での男女平等意識をより、徹底させる。	現代女性とキャリア連携専攻の科目でも、企業でリーダー格の先輩を講師に招き、学生に好評を得ている(日本女子大学)。